

8-3 松本市における自転車利用に関するアンケート調査の実施

(1) 調査概要

本計画の策定に当たり、市内の自転車利用に関する課題や、今後実施すべき施策を検討するため、市民の自転車利用実態や、自転車利用への意識・意向、安全利用の状況を把握するためのアンケート調査を実施しました。

表 8-7 調査概要

項目	概要
調査方法	WEB アンケート調査で把握
調査対象	調査会社のモニターのうち、松本市在住の市民（16～80歳）
調査期間	令和3（2021）年1月8日（金）～ 1月12日（火）
調査方法	調査会社のモニターを対象としたWEBアンケートにて実施
調査数	計600票 うち、自転車利用者※1：300票 自転車非利用者※2：300票

※1 自転車利用者：普段、自転車を利用する方

※2 自転車非利用者：普段、自転車を利用しない方



(2) 調査項目

表 8-8 WEB アンケート調査項目

大項目	設問 No	項目	自転車利用者	自転車非利用者
個人属性	—	性別	○	○
	—	年齢	○	○
普段の移動の状況	Q1	主な外出目的	○	○
	Q2	Q1 の主な外出目的での外出頻度	○	○
	Q3	Q1 の主な外出目的での移動手段 (複数回答)	なし	○
	Q4	Q1 の主な外出目的で最もよく行く目的地までの距離 (片道)	○	○
	Q5	自転車を利用してよいと思う最大の距離 (片道)	○	○
自転車利用の実態 や意識・意向	Q6	保有する自転車の有無・種類	○	○
	Q7	電動アシスト付き自転車・スポーツバイクの利用経験	○	○
	Q8	Q1 の主な外出目的で最もよく行く目的地まで、クルマを使用しない場合の公共交通利用可能性 ※ Q3 で「4. クルマ (自分で運転)」または「5. クルマ (家族等の送迎)」のみを選択した方のみ	なし	○(※)
	Q9	最もよく行く目的地までの自転車の利用意向	○	○
	Q10	自転車を利用する理由 (複数回答)	○	なし
	Q11	車道を走行する割合	○	なし
	Q12	車道走行時にクルマの路上駐車が原因で危険と感じることの有無	○	なし
	Q13	普段利用する駐輪場に対する不満 (複数回答)	○	なし
	Q14	自転車を使ったマイクロツーリズムの実施意向	○	○
	Q15	サイクルスポーツの実施意向	○	○
	Q16	自転車に乗ることは楽しいと思うか	○	○
	Q17	子どもの頃、親や家族と一緒に自転車で走って楽しんだ経験	○	○
	Q18	どのような環境が整えば自転車を利用してよい・より自転車を利用したいと思うか (複数回答)	○	○
	Q19	目的地から歩いてどのくらいの距離までなら駐輪場を利用したいと思うか	○	○
Q20	松本市内のシェアサイクルの利用経験	○	○	
安全利用 (ルール・マナー) の状況	Q21	ヘルメットの所有と着用状況	○	なし
	Q22	自転車損害賠償責任保険の加入・認知状況	○	○
	Q23	自転車の交通ルールの認知・遵守状況	○	○
松本市における自転車の位置づけ	Q24	自転車が果たすべき役割として重要と思うこと (複数回答・3 つまで)	○	○



(3) 市民アンケート結果

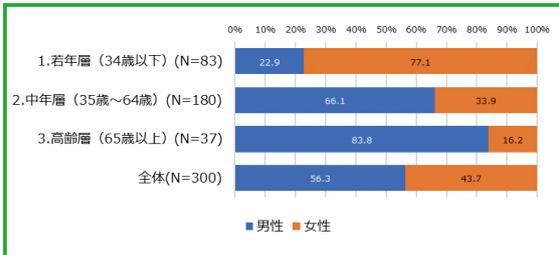
1) 個人属性

性別

自転車利用者

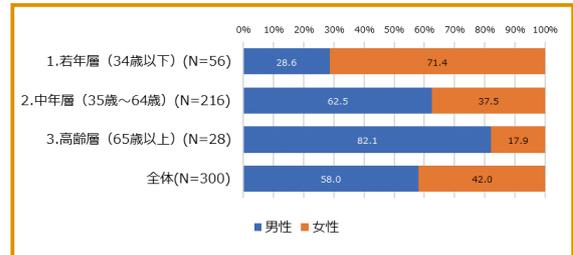
- 回答者全体では、男性が56.3%、女性が43.7%を占めています。

(年齢層別)

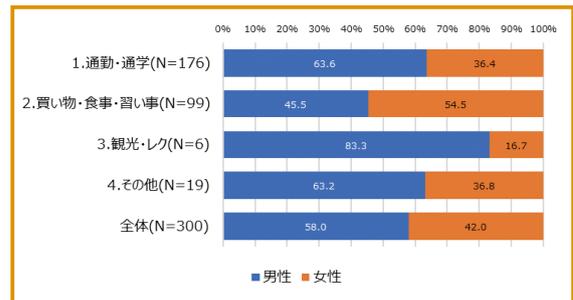
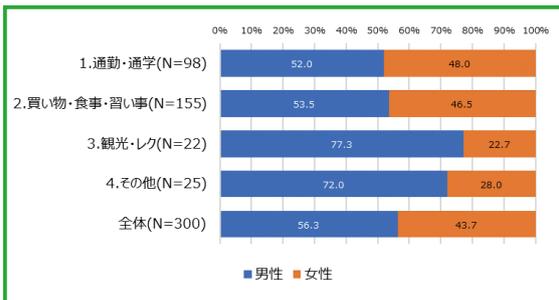


自転車非利用者

- 回答者全体では、男性が58.0%、女性が42.0%を占めています。



(主な外出目的別)

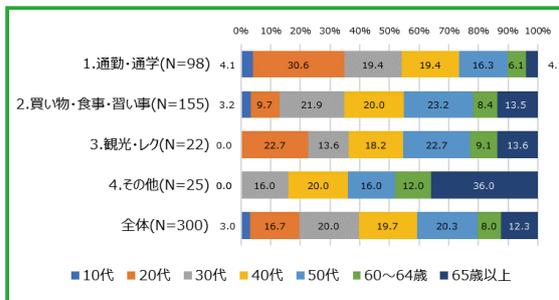


年齢

自転車利用者

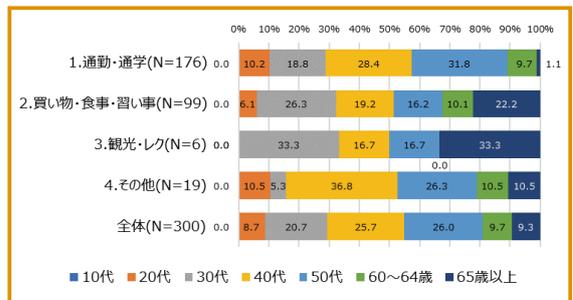
- 回答者全体では、65歳未満が87.7%、65歳以上が12.3%を占めています。

(主な外出目的別)



自転車非利用者

- 回答者全体では、65歳未満が90.8%、65歳以上が9.3%を占めています。



* 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。



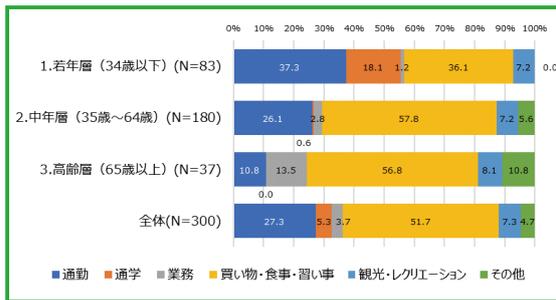
2) 普段の移動の状況

Q1 主な外出目的

自転車利用者

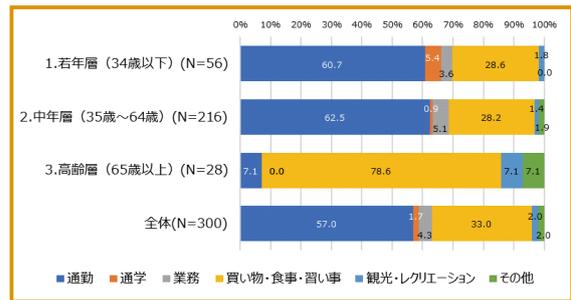
- 回答者全体では、買い物・食事・習い事が51.7%、通勤・通学が32.6%を占めています。
- 若年層では、約55%が通勤・通学目的で自転車を利用しています。

(年齢層別)



自転車非利用者

- 回答者全体では、通勤・通学が58.7%、買い物・食事・習い事が33.0%を占めています。



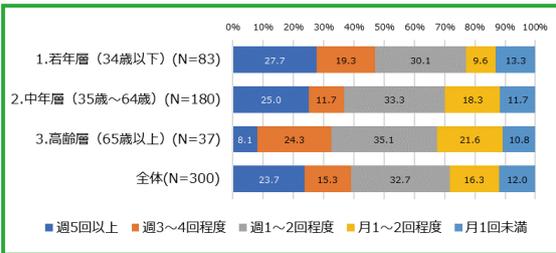
Q2 Q1の主な外出目的での外出頻度

目次

自転車利用者

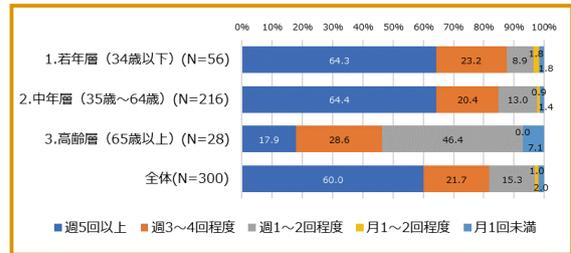
- 回答者全体では、週1~2回程度が32.7%、週5回以上が23.7%を占めています。

(年齢層別)

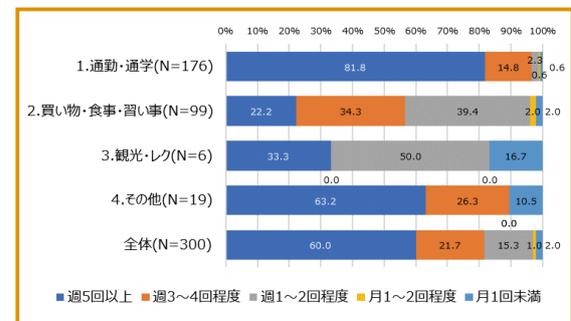
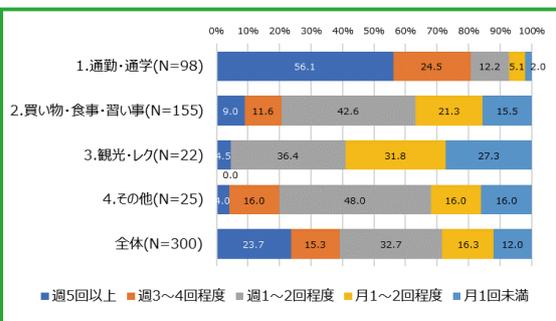


自転車非利用者

- 回答者全体では、週5回以上が60.0%、週1~2回程度が21.7%を占めています。



(主な外出目的別)

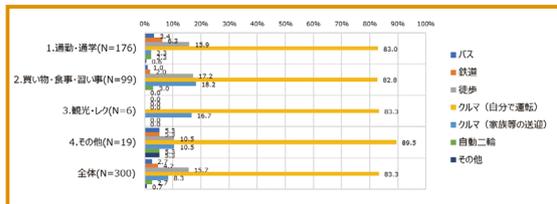
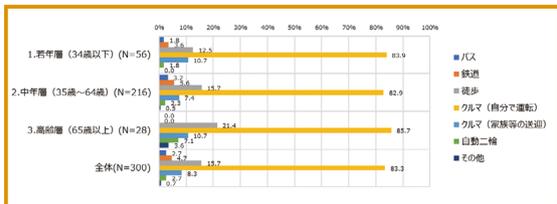


Q3 Q1の主な外出目的での移動手段（複数回答）

自転車非利用者

- 回答者全体では、クルマ（自分で運転）、徒歩、クルマ（家族等の送迎）の順に多くなっています。

（年齢層別）



Q4 Q1の主な外出目的で最もよく行く目的地までの距離（片道）

自転車利用者

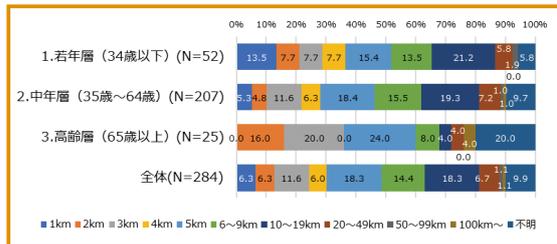
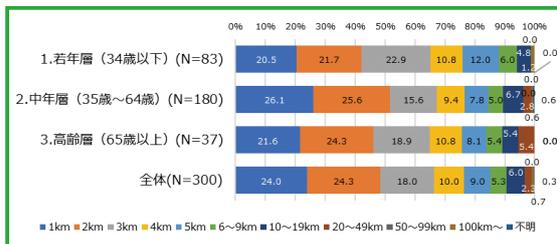
- 回答者全体では、目的地までの距離が2km以下の場合が48.3%を占めています。また、5km以下の場合が85.3%を占めています。

自転車非利用者

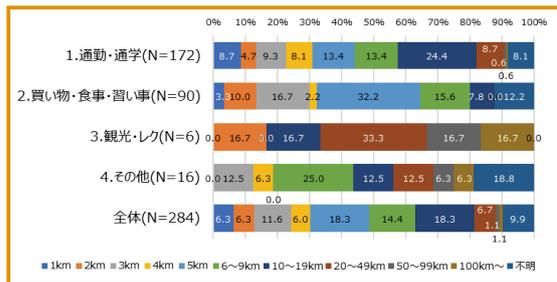
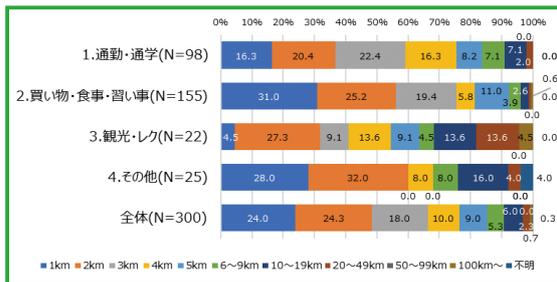
- 回答者全体では、4km以下が30.2%、5kmが18.3%、6~9kmが14.4%、10km以上が27.2%を占めています。

目次

（年齢層別）



（主な外出目的別）



- ※ 1 時間による回答を距離に変換した際、時速15kmで計算した。
- ※ 2 距離は、小数点以下を切り上げた数値で区分した。

- ※ 1 設問3移動手段が複数回答の場合、「不明」に分類した。
- ※ 2 距離は、小数点以下を切り上げた数値で区分した。



Q5 自転車を利用してよいと思う最大の距離（片道）

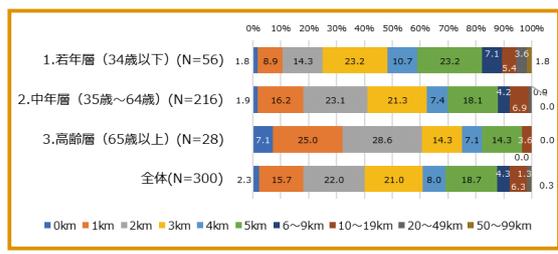
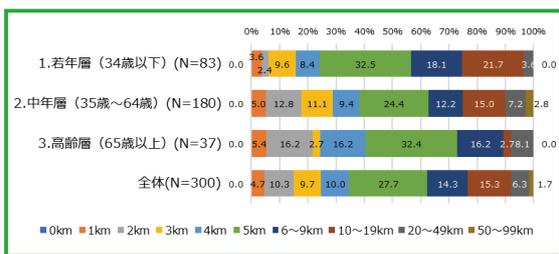
自転車利用者

- 回答者全体では、5km までなら自転車を利用してよいと思う人が 62.4% を占めています。
- 主な外出目的が通勤・通学では、5km までなら自転車を利用してよいと思う人が 55.0% を占めています。

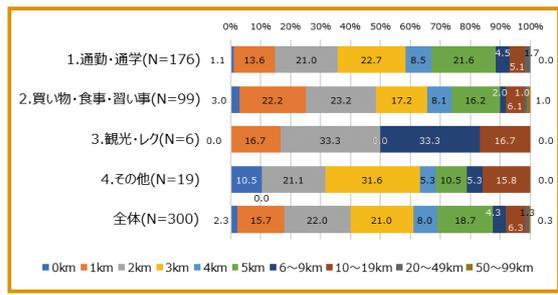
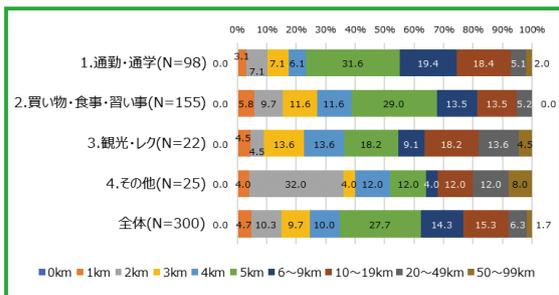
自転車非利用者

- 回答者全体では、5km までなら自転車を利用してよいと思う人が 85.4% を占めています
- 主な外出目的が通勤・通学では、5km までなら自転車を利用してよいと思う人が 87.4% を占めています。

(年齢層別)



(主な外出目的別)



- ※ 1 時間による回答を距離に変換した際、時速 15km で計算した。
- ※ 2 距離は、小数点以下を切り上げた数値で区分した。

- ※ 距離は、小数点以下を切り上げた数値で区分した。



3) 自転車利用の実態や意識・意向

Q6 保有する自転車の有無・種類

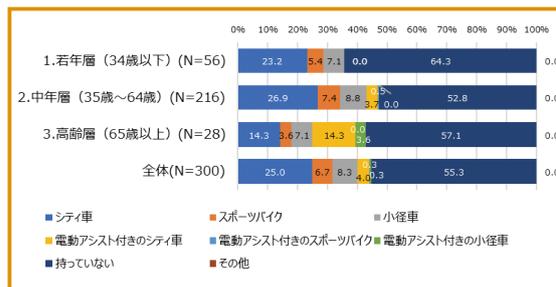
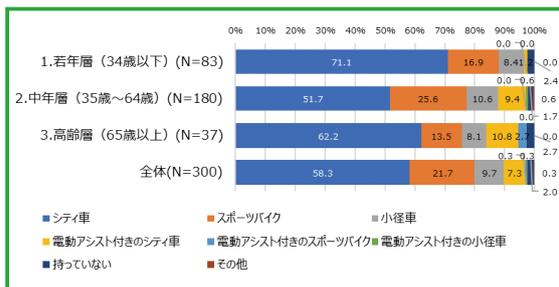
自転車利用者

- 回答者全体では、シティ車が 58.3%、スポーツバイクが 21.7% を占めています。
- また、回答者全体の、電動アシスト付き自転車の利用割合は 7.9% となっています。

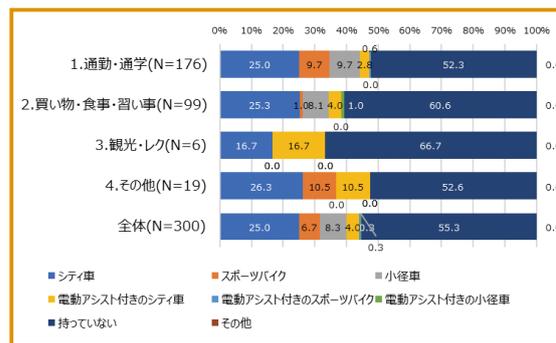
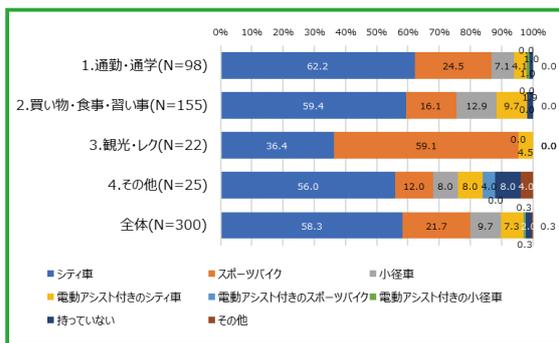
自転車非利用者

- 回答者全体では、持っていないが 55.3%、シティ車が 25.0% を占めています。
- また、回答者全体の、電動アシスト付き自転車の利用割合は 4.6% となっています。

(年齢層別)



(主な外出目的別)



※ シティ車：ママチャリなど街乗り用自転車、スポーツバイク：マウンテンバイク、ロードバイク、クロスバイクなどの自転車、小径車：折りたたみ自転車などのタイヤの小さい自転車

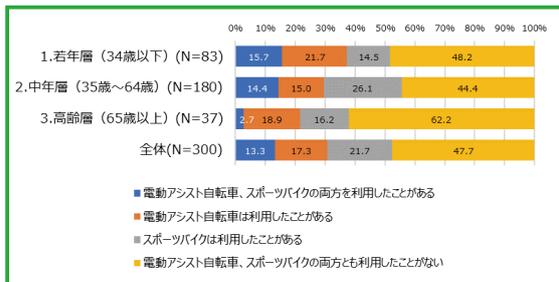


Q7 電動アシスト付き自転車・スポーツバイクの利用経験

自転車利用者

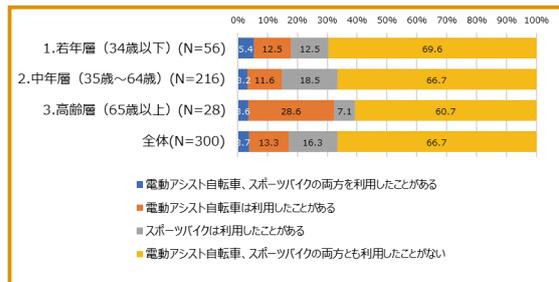
- 回答者全体では、電動アシスト付き自転車の利用経験者は 30.6%、スポーツバイク利用経験者は 35.0% を占めています。

(年齢層別)

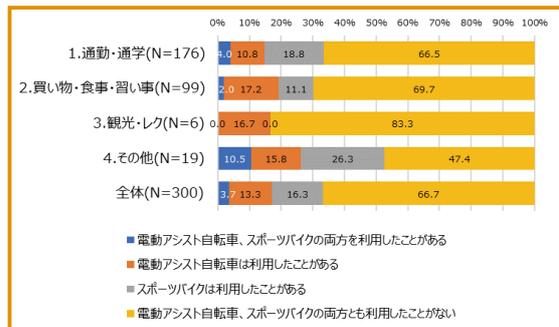
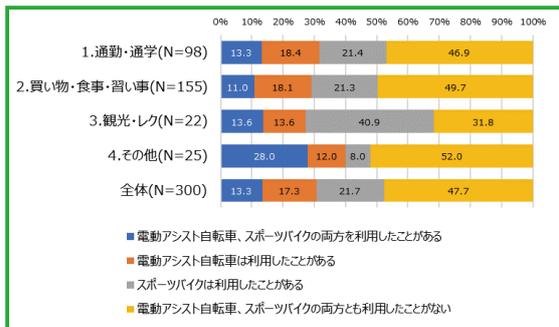


自転車非利用者

- 回答者全体では、電動アシスト付き自転車の利用経験者は 17.0%、スポーツバイク利用経験者は 20.0% を占めています。



(主な外出目的別)



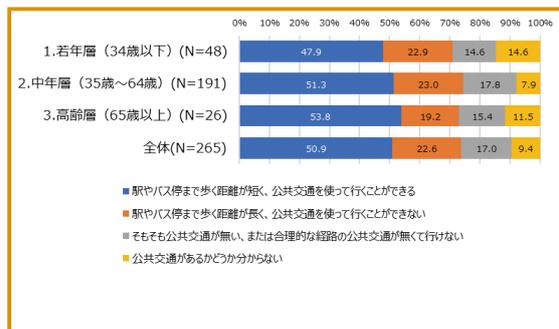
※ スポーツバイク：マウンテンバイク、ロードバイク、クロスバイクなどの自転車。

Q8 Q1の主な外出目的で最もよく行く目的地まで、クルマを使用しない場合の公共交通利用可能性 ※ Q3で「4.クルマ(自分で運転)」または「5.クルマ(家族等の送迎)」のみを選択した方のみ

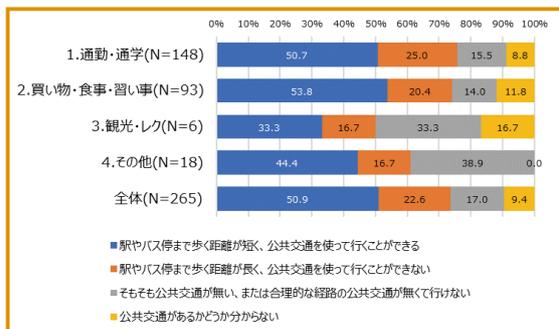
自転車非利用者のみ

- 回答者全体では、目的地まで「公共交通を使って行くことができる」人が 50.9%、「駅やバス停まで歩く距離が長く、公共交通を使って行くことができない」人が 22.6% を占めています。

(年齢層別)



(主な外出目的別)

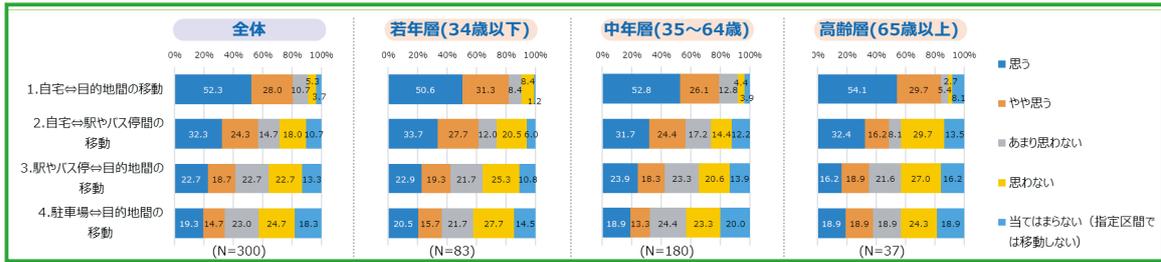


Q9 最もよく行く目的地までの自転車の利用意向

自転車利用者

- 回答者全体では、「思う・やや思う」は、自宅⇔目的地間の移動が 80.3%、自宅⇔駅やバス停間の移動が 56.6%、駅やバス停⇔目的地間の移動が 41.4%、駐車場⇔目的地間の移動が 34.0%を占めています。また、「あまり思わない・思わない」は、自宅⇔目的地間の移動が 16.0%、自宅⇔駅やバス停間の移動が 32.7%、駅やバス停⇔目的地間の移動が 45.4%、駐車場⇔目的地間の移動が 47.7%を占めています。

(年齢層別)



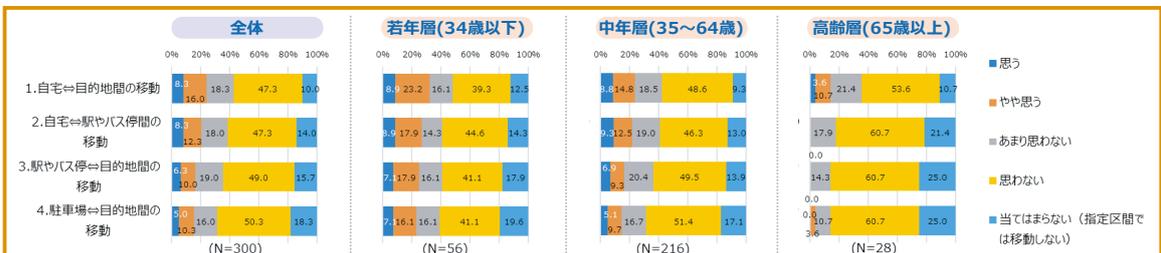
(主な外出目的別)



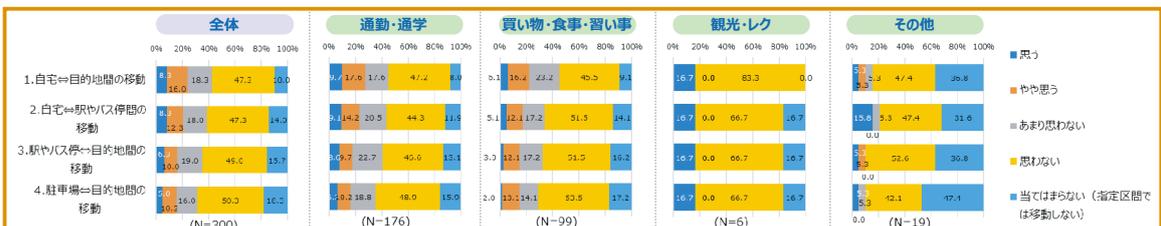
自転車非利用者

- 回答者全体では、「思う・やや思う」は、自宅⇔目的地間の移動が 24.3%、自宅⇔駅やバス停間の移動が 20.6%、駅やバス停⇔目的地間の移動が 16.3%、駐車場⇔目的地間の移動が 15.3%を占めています。また、「あまり思わない・思わない」は、自宅⇔目的地間の移動が 65.6%、自宅⇔駅やバス停間の移動が 65.3%、駅やバス停⇔目的地間の移動が 68.0%、駐車場⇔目的地間の移動が 66.3%を占めています。

(年齢層別)



(主な外出目的別)

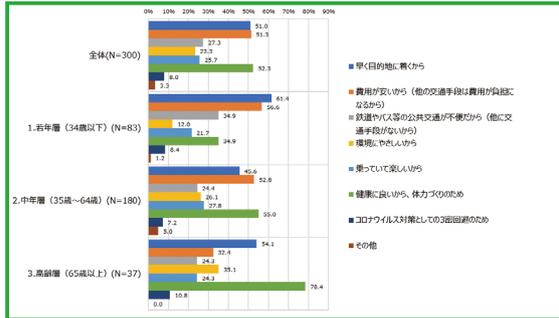


Q10 自転車を利用する理由（複数回答）

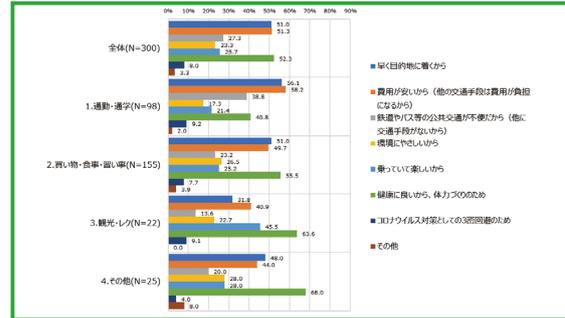
自転車利用者のみ

- 回答者全体では、健康に良いから、体力づくりのため（52.3%）、費用が安いから（他の交通手段は費用が負担になるから）（51.3%）、早く目的地に着くから（51.0%）の順に多くなっています。
- 高齢層では、「健康に良いから、体力づくりのため」自転車を利用する人が78.4%を占める一方、「費用が安いから」自転車を利用する人は32.4%と比較的低くなっています。

（年齢層別）



（主な外出目的別）



Q11 車道を走行する割合

自転車利用者のみ

- 回答者全体では、全体の42.4%は歩道を走行することが多い（車道を走行する割合が0割～3割）と回答しています。一方で、車道を走行することが多い人（車道を走行する割合が7～10割）は全体の26%を占めています。

（年齢層別）



（主な外出目的別）

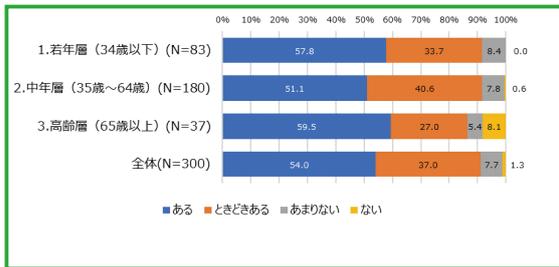


Q12 車道走行時にクルマの路上駐車が原因で危険と感じることの有無

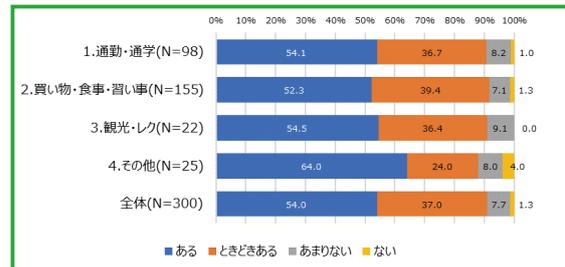
自転車利用者のみ

- 回答者全体では、ある・ときどきあるが91.0%、あまりない・ないが9.0%を占めています。

（年齢層別）



（主な外出目的別）

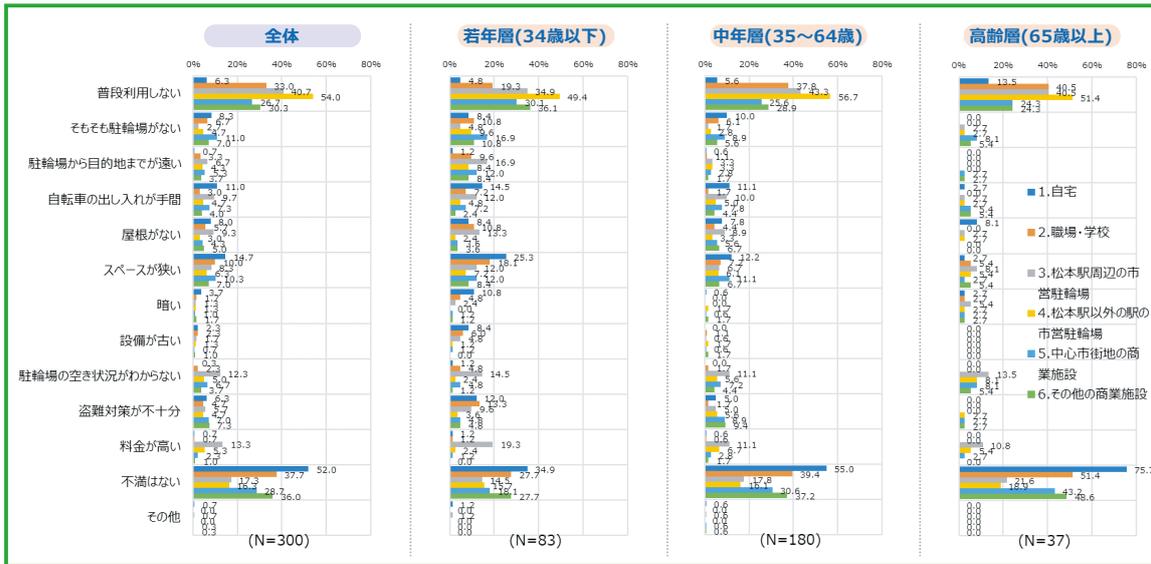


Q13 普段利用する駐輪場に対する不満（複数回答）

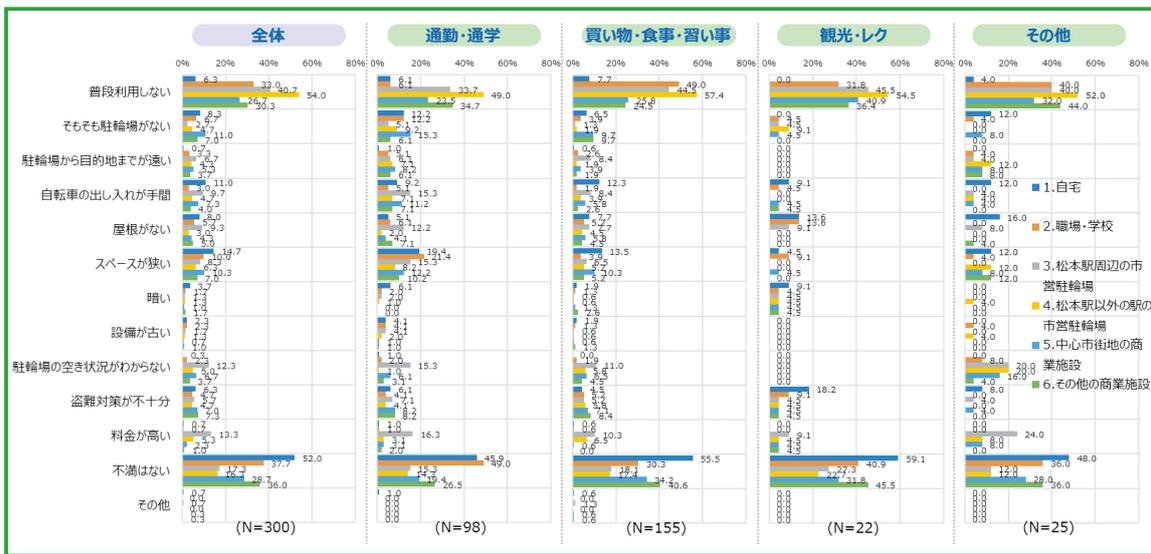
自転車利用者のみ

- 回答者全体では、「普段利用しない・不満はない」との回答が多くなっています。不満については「松本駅周辺の市営駐輪場」で料金が高い、駐輪場の空き状況がわからない、自転車の出し入れが手間、屋根がない、スペースが狭いことへの不満が各層で上位を占めています。
- 主な外出目的別では、不満については「松本駅周辺の市営駐輪場」で料金が高い、駐輪場の空き状況がわからないが各層で上位を占めています。

（年齢層別）



（主な外出目的別）

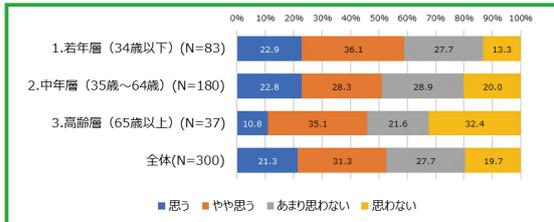


Q14 自転車を使ったマイクロツーリズムの実施意向

自転車利用者

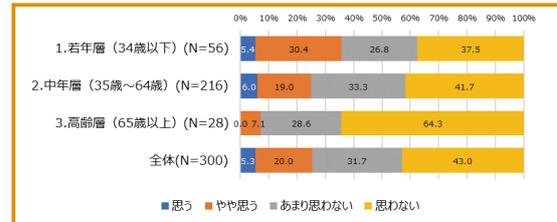
- 回答者全体では、実施したいと思う・やや思うが52.6%、あまり思わない・思わないが47.4%を占めています。

(年齢層別)

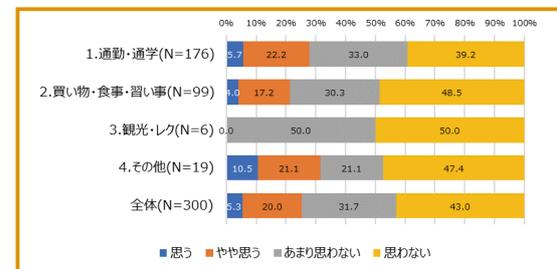
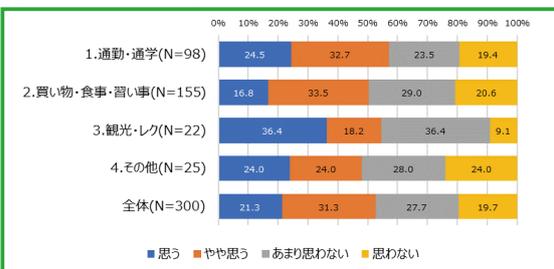


自転車非利用者

- 回答者全体では、実施したいと思う・やや思うが25.3%、あまり思わない・思わないが74.7%を占めています。



(主な外出目的別)



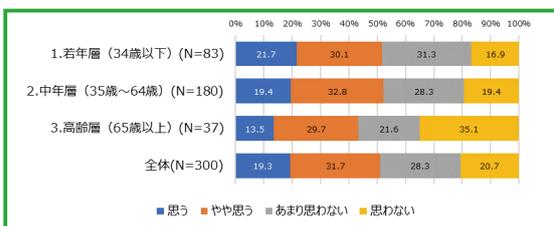
※ マイクロツーリズム：自宅から1～2時間程度の地元や近隣を旅行すること。

Q15 サイクルスポーツの実施意向

自転車利用者

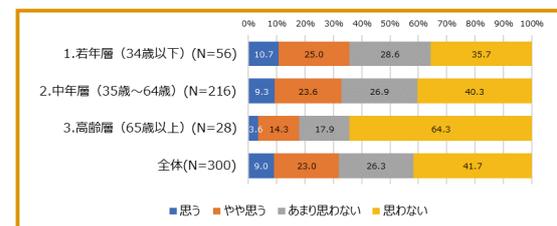
- 回答者全体では、実施したいと思う・やや思うが51.0%、あまり思わない・思わないが49.0%を占めています。

(主な外出目的別)

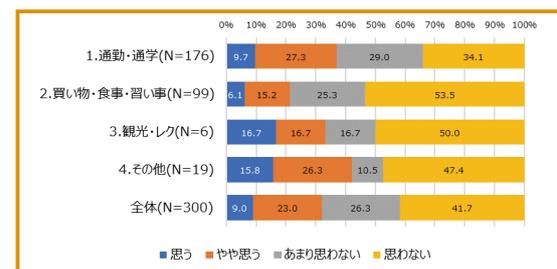
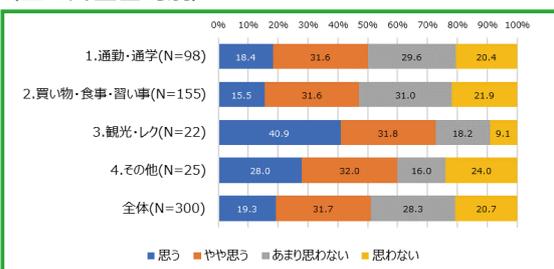


自転車非利用者

- 回答者全体では、実施したいと思う・やや思うが32.0%、あまり思わない・思わないが68.0%を占めています。



(主な外出目的別)



※ サイクルスポーツ：マウンテンバイクやロードバイク、クロスバイクなどのスポーツバイクを運動目的で使用すること。

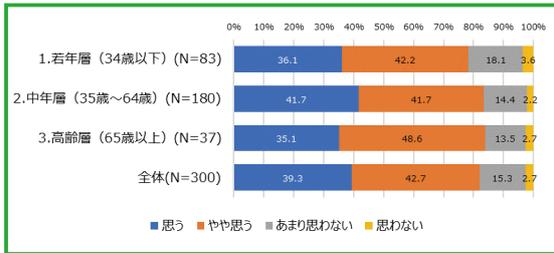


Q16 自転車に乗ることは楽しいと思うか

自転車利用者

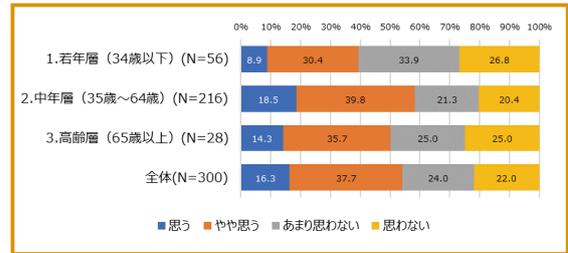
- 回答者全体では、楽しいと思う・やや思うが82.0%、あまり思わない・思わないが18.0%を占めています。

(年齢層別)

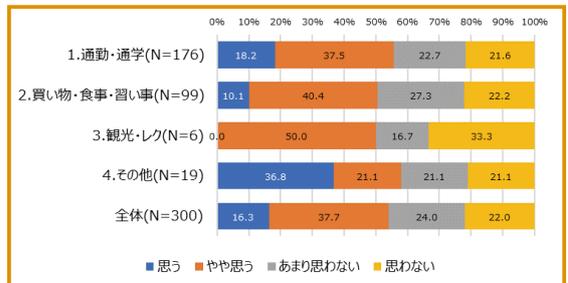
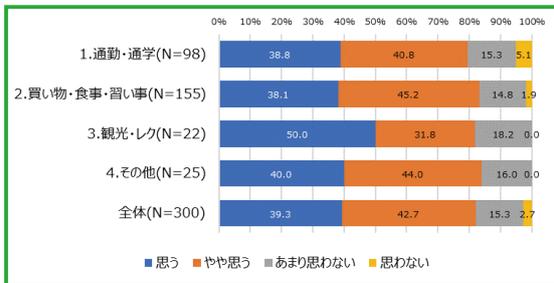


自転車非利用者

- 回答者全体では、楽しいと思う・やや思うが54.0%、あまり思わない・思わないが46.0%を占めています。



(主な外出目的別)

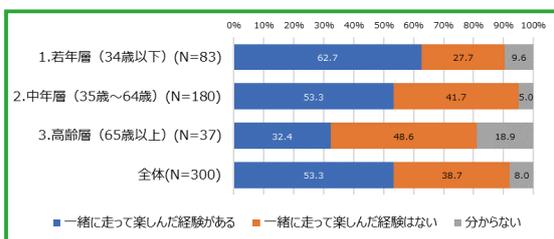


Q17 子どもの頃、親や家族と一緒に自転車で走って楽しんだ経験

自転車利用者

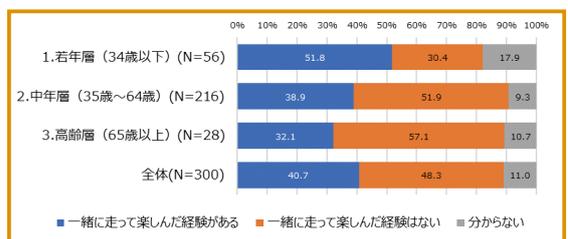
- 回答者全体では、一緒に走って楽しんだ経験があるが53.3%、一緒に走って楽しんだ経験はないが38.7%を占めています。

(年齢層別)

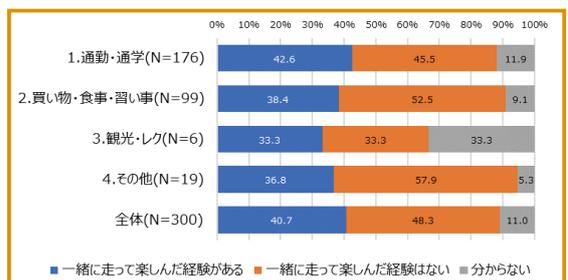
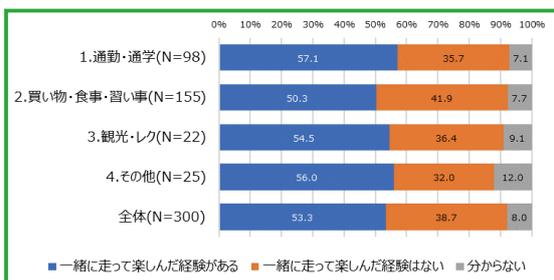


自転車非利用者

- 回答者全体では、一緒に走って楽しんだ経験があるが40.7%、一緒に走って楽しんだ経験はないが48.3%を占めています。



(主な外出目的別)

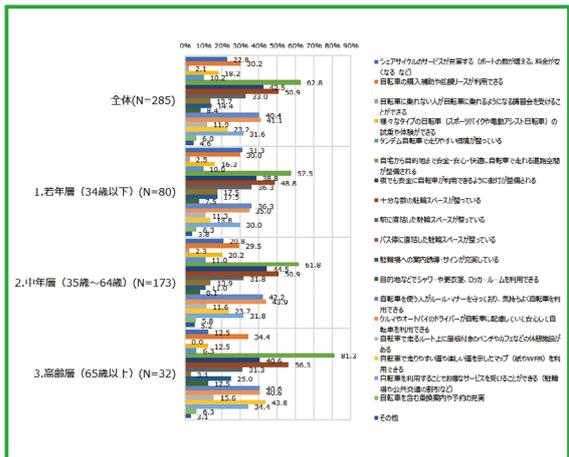


Q18 どのような環境が整えば自転車を利用してもよい・より自転車を利用したいと思うか（複数回答）

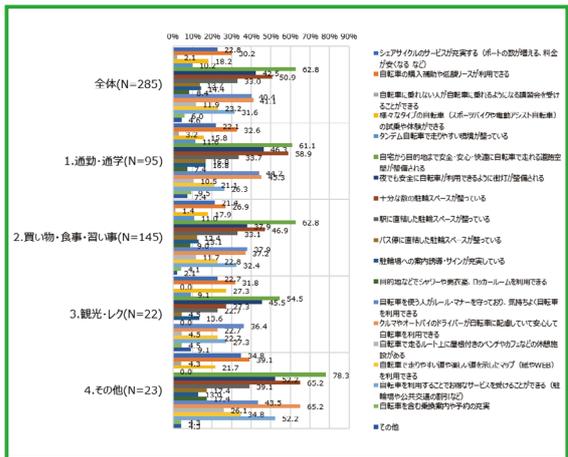
自転車利用者（より自転車を利用したい）

- 回答者全体では、安全・安心・快適な道路空間（62.8%）、十分な駐輪スペース（50.9%）、街灯の整備（42.5%）、ドライバーの自転車への配慮（41.1%）、ルール・マナーを守り気持ちよく利用できる（40.4%）の順に多くなっています。

（年齢層別）



（主な外出目的別）

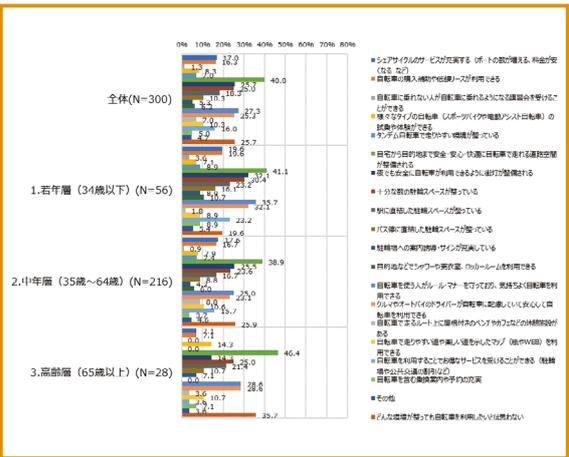


※ 「どんな環境が整っても自転車を利用したいとは思わない」との回答 (N=15) は、矛盾回答として無効票として扱った。

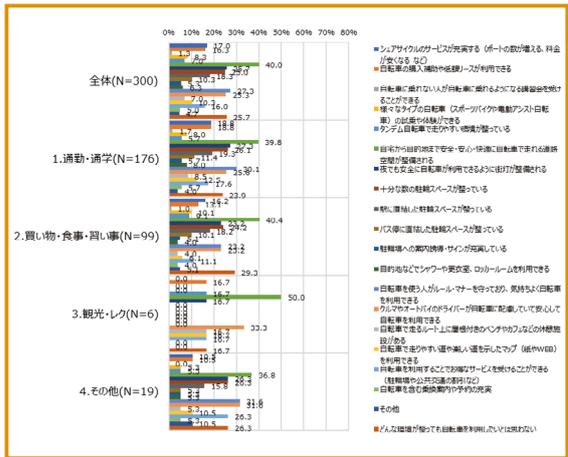
自転車非利用者（自転車を利用してもよい）

- 回答者全体では、安全・安心・快適な道路空間（40.0%）、ルール・マナーを守り気持ちよく利用できる（27.3%）、街灯の整備（25.7%）、ドライバーの自転車への配慮（25.3%）、十分な駐輪スペース（25.0%）の順に多くなっています。

（年齢層別）



（主な外出目的別）

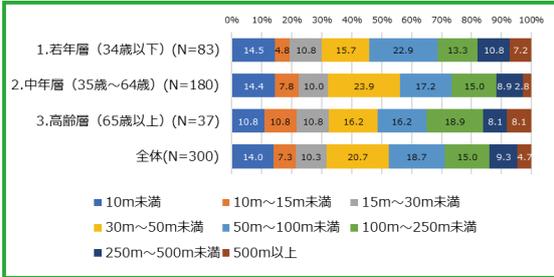


Q19 目的地から歩いてどのくらいの距離までなら駐輪場を利用したいと思うか

自転車利用者

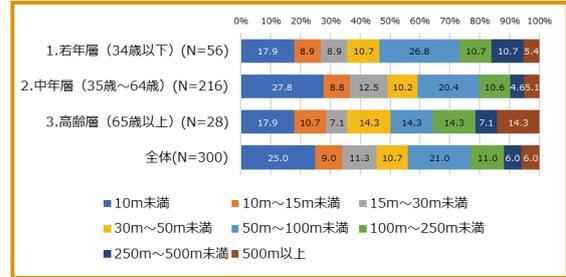
- 回答者全体では、目的地から 30m 以上でも駐輪場を利用する人が 68.4% を占めています。

(年齢層別)

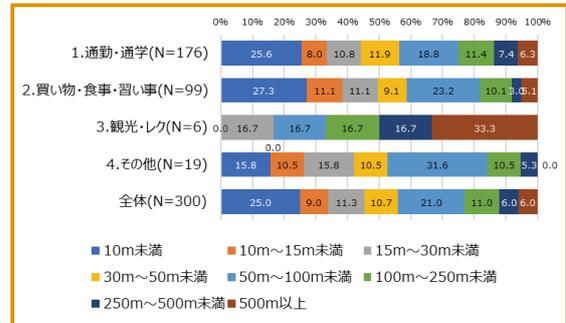
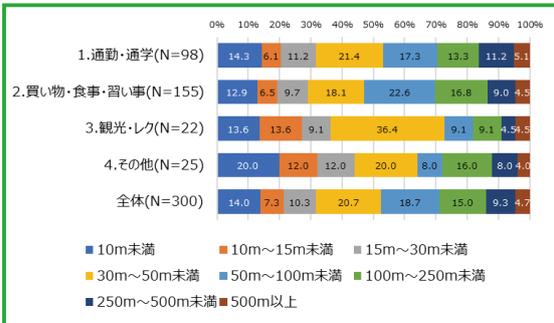


自転車非利用者

- 回答者全体では、目的地から 30m 以上でも駐輪場を利用する人が 54.7% を占めています。



(主な外出目的別)

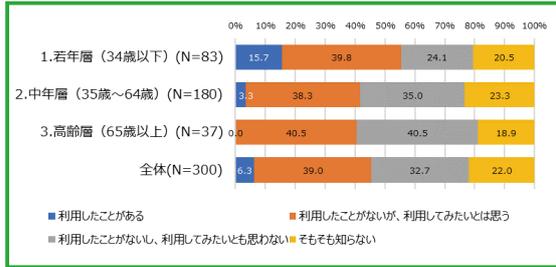


Q20 松本市内のシェアサイクルの利用経験

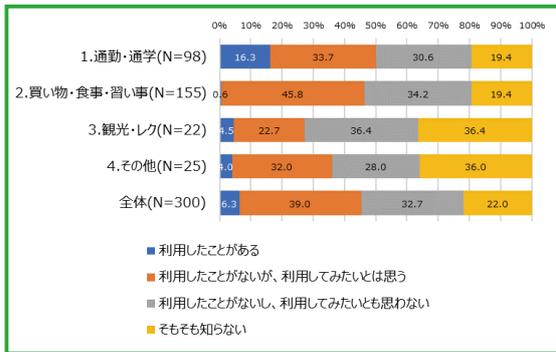
自転車利用者

- 回答者全体では、利用したことがある・利用してみたいが45.3%、利用してみたくないが32.7%、シェアサイクルを知らないが22.0%を占めています。

(年齢層別)

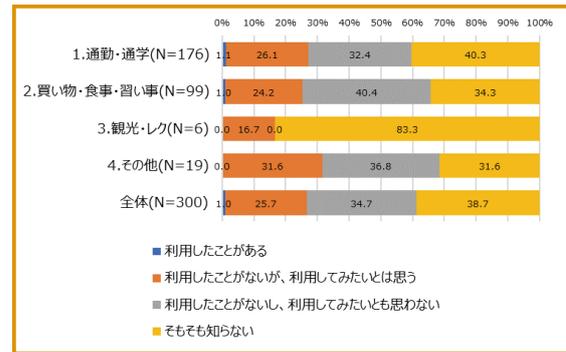
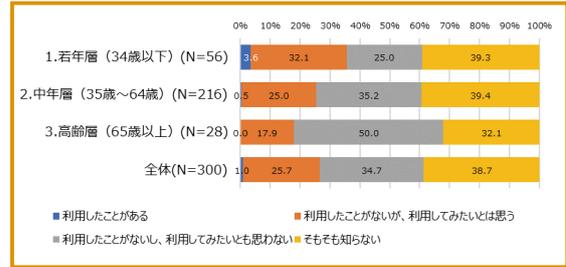


(主な外出目的別)



自転車非利用者

- 回答者全体では、利用したことがある・利用してみたいが26.7%、利用してみたくないが34.7%、シェアサイクルを知らないが38.7%を占めています。



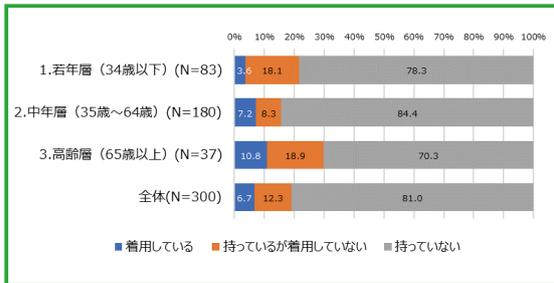
4) 安全利用（ルール・マナー）の状況

Q21 ヘルメットの所有と着用状況

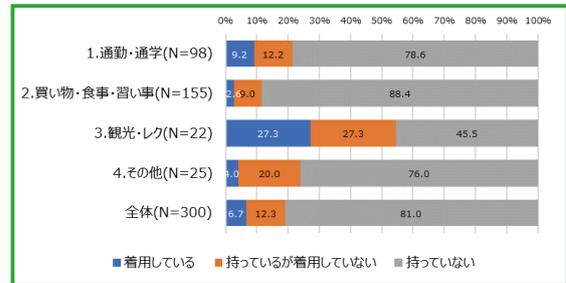
自転車利用者のみ

- 回答者全体では、着用率は6.7%、持っているが着用していないが12.3%を占めています。

(年齢層別)



(主な外出目的別)

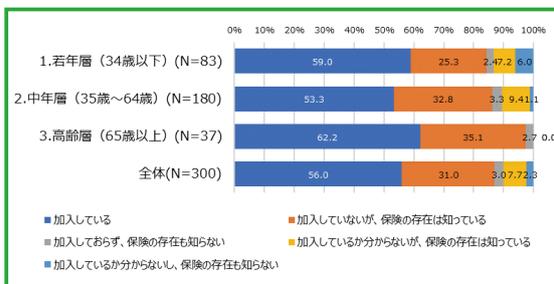


Q22 自転車損害賠償責任保険の加入・認知状況

自転車利用者

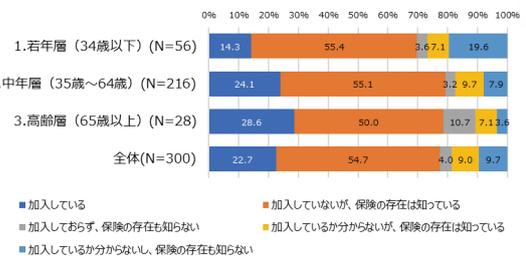
- 回答者全体では、加入している人が56.0%を占めています。
- また、保険の存在を知っている人は94.7%を占めています。

(年齢層別)

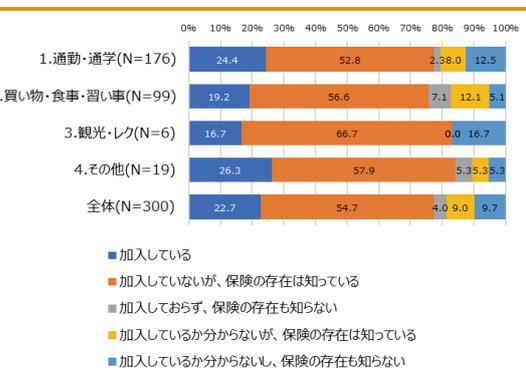
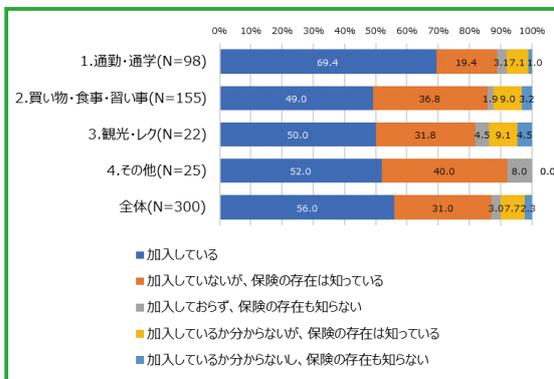


自転車非利用者

- 回答者全体では、加入している人が22.7%を占めています。
- また、保険の存在を知っている人は86.4%を占めています。



(主な外出目的別)



Q23 自転車の交通ルールの認知・遵守状況

自転車利用者

①認知状況

- 回答者全体では、「子どもはヘルメット着用」「長野県では、自転車損害賠償保険等への加入は義務である」の認知度が約7割程度と比較的低くなっています。
- 交通ルールの認知状況は、年齢層別に大きな差はみられません。

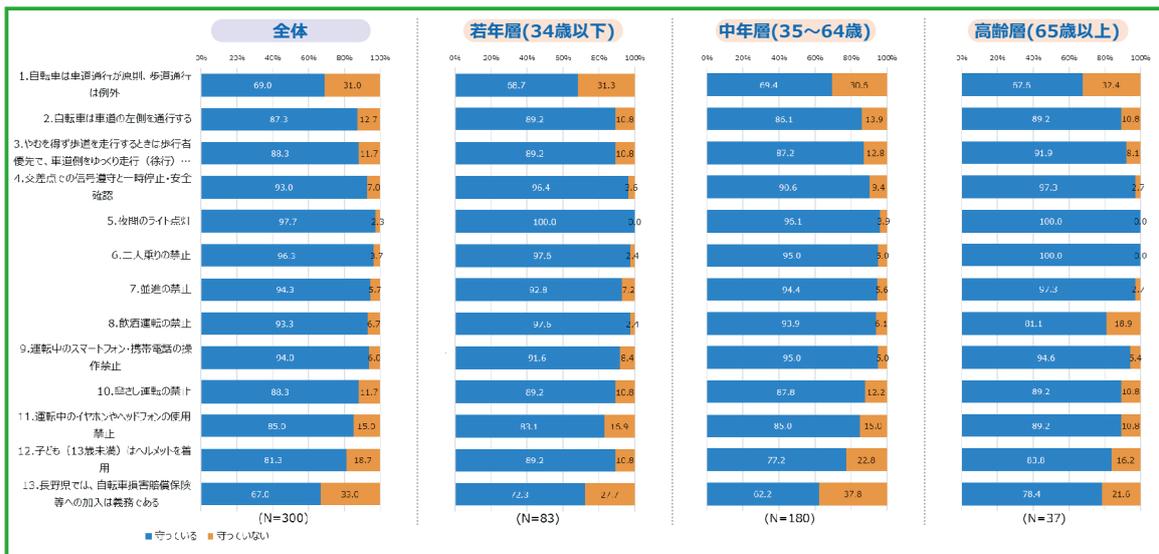
(年齢層別)



②遵守状況

- 回答者全体では、認知状況と比較して、「自転車は車道通行が原則、歩道通行は例外」の遵守率が低くなっています。
- 交通ルールの遵守状況は、年齢層別に大きな差はみられません。

(年齢層別)

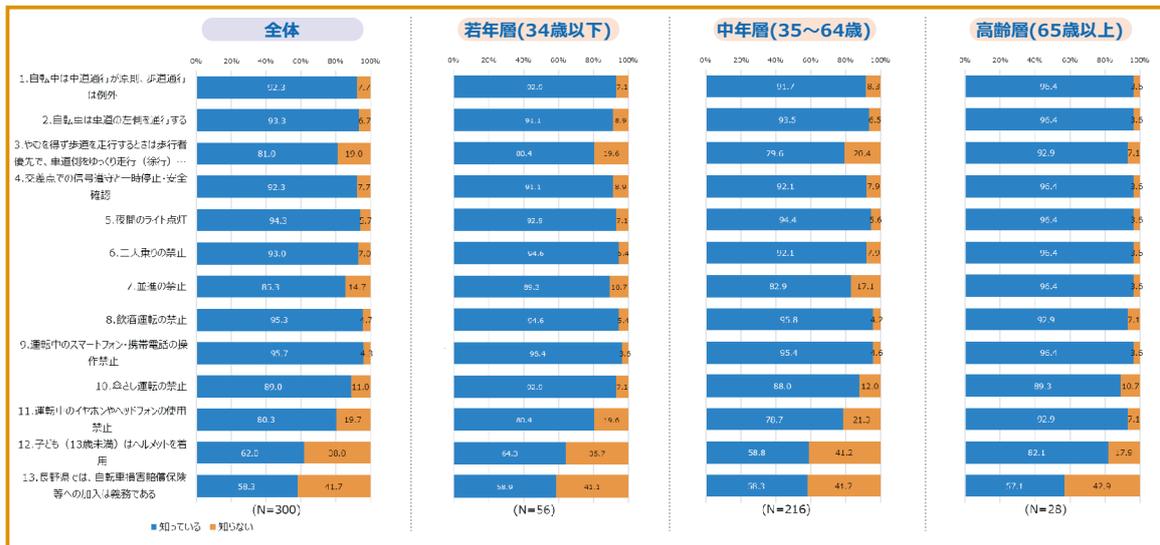


自転車非利用者

①認知状況

- 回答者全体では、「子どもはヘルメット着用」「長野県では、自転車損害賠償保険等への加入は義務である」の認知度が約6割程度と比較的低くなっています。
- 交通ルールの認知状況は、年齢層別に大きな差はみられません。

(年齢層別)



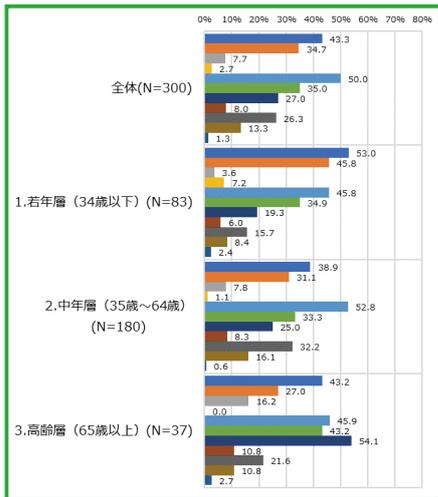
5) 松本市における自転車の位置づけ

Q24 自転車が果たすべき役割として重要と思うこと（複数回答・3つまで）

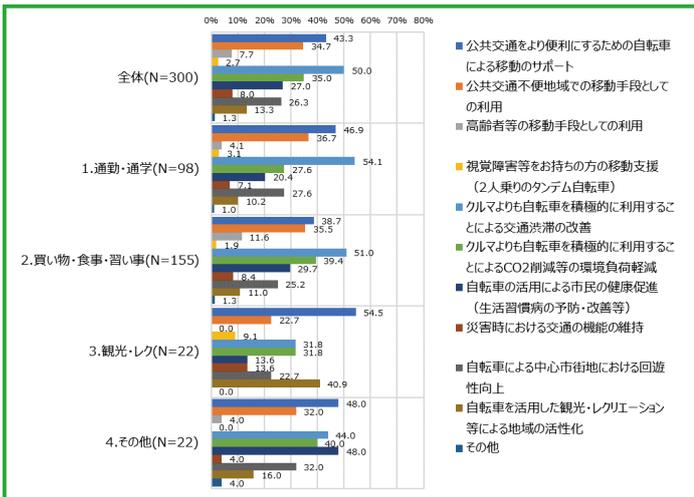
自転車利用者

- 回答者全体では、交通渋滞の改善（50.0%）、自転車による移動のサポート（43.3%）、環境負荷軽減（35.0%）、公共交通不便地域での利用（34.7%）の順に多くなっています。
- 高齢層では、健康促進（54.1%）が高くなっています。

（年齢層別）



（主な外出目的別）

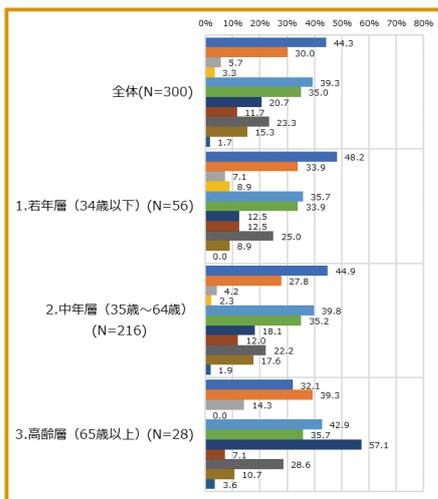


目次

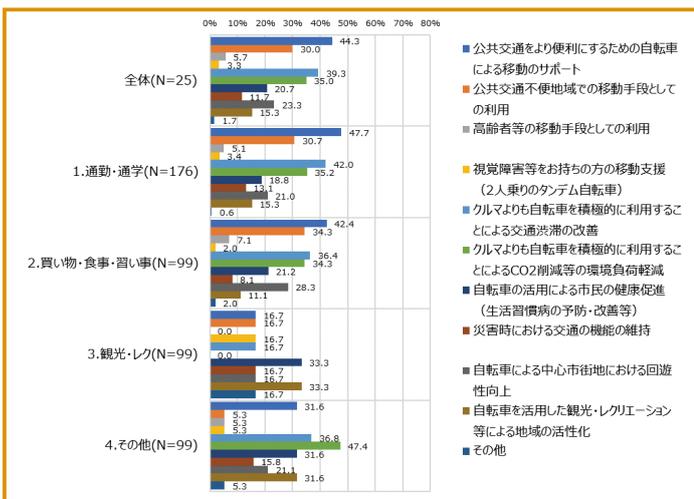
自転車非利用者

- 回答者全体では、自転車による移動のサポート（44.3%）、交通渋滞の改善（39.3%）、環境負荷軽減（35.0%）、公共交通不便地域での利用（30.0%）の順に多くなっています。
- 高齢層では、健康促進（57.1%）が高くなっています。

（年齢層別）



（主な外出目的別）





発行

松本市 交通部 自転車推進課
〒390-8620 松本市丸の内3番7号
TEL 0263-34-3245 FAX 0263-34-3202